

まどに先生が来た

(56)

“おなご先生”の独り言in診察室

まい暑い日が続きますが、りびえの読者の皆さんは元気にしちやられますかいいね？ 身体を調整して頑張つてご

体を作る情報源であり、この情報を“遺伝子”と呼んでいます。がんは、この遺伝子に異常が生じて起こります。もともと身体の中に、がん化を促進する遺伝子と抑制する遺伝子が競合して存在しますが、それらに異常が生じ、がん化する

のがんは、この遺伝子に異常が生じて起こります。もともと身体の中に、がん化を促進する遺伝子と抑制する遺伝子が競合して存在しますが、それらに異常が生じ、がん化する

がなくても、すぐに検査でがんがあると分かるわけではありません。約何年くらいたつと検査で見つかるようになるのでしょうか？

①5年②10年③20年
まい何でも大体〇年が区切りですね。
さて、遺伝子はA(ア



化につながる恐れがあります。ただ、すべての人にがん化が起こらないのは、異常を修復してくれる“自己免疫機能”が

備わっているからです。正常細胞が細胞分裂する際にイニシエーター(発がん物質)を取り込み、変異した細胞が出現。その異常な細胞が今度はプロモーター(発がん促進物質)の影響を受けて、がん細胞が誕生します。そうすると次には自己免疫機能が細胞の変異を抑

制しようとして、自己免疫機能にはDNA修復酵素、細胞を直接殺してくれるNK(ナチュラルキラー)細胞があり、ほかに発がん抑制物質(β-カロテン、ビタミンC、E)の関与が考えられます。皆さんは、イニシエーターである発がん物質を除去し、プロモーターである発がん促進因子を排除してやればよいと思われ

“転ばぬ先の健診、がんは早期発見、治療が大事”の巻

を勧めます。さて今回は、がんの話。転ばぬ先の健診、早期発見、治療が大事”の巻。

の転ばぬ先の健診、早期発見、治療が大事”の巻。

転ばぬ先の健診、早期発見、治療が大事”の巻。

転ばぬ先の健診、早期発見、治療が大事”の巻。

転ばぬ先の健診、早期発見、治療が大事”の巻。

転ばぬ先の健診、早期発見、治療が大事”の巻。

人間の身体は約60兆個の細胞から成り立っています。その1個1個に核があり、その中にDNA(デオキシリボ核酸)があります。これこそが、私たちの身

人間の身体は約60兆個の細胞から成り立っています。その1個1個に核があり、その中にDNA(デオキシリボ核酸)があります。これこそが、私たちの身

人間の身体は約60兆個の細胞から成り立っています。その1個1個に核があり、その中にDNA(デオキシリボ核酸)があります。これこそが、私たちの身

人間の身体は約60兆個の細胞から成り立っています。その1個1個に核があり、その中にDNA(デオキシリボ核酸)があります。これこそが、私たちの身

人間の身体は約60兆個の細胞から成り立っています。その1個1個に核があり、その中にDNA(デオキシリボ核酸)があります。これこそが、私たちの身

人間の身体は約60兆個の細胞から成り立っています。その1個1個に核があり、その中にDNA(デオキシリボ核酸)があります。これこそが、私たちの身

訂正 前号「紫外線」の文中、エキスチンはエラスチンの誤りでした。

関係があるようです。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃がんと、B、C肝炎ウイルスは肝臓がんと、ヒトパピローマウイルスは子宮頸がんと関係すると言われています。この3つのがんは腹部エコー、胃カメラなどで割り方発見されやすく、また肺がんは胸部レントゲンで見つかりますが、中には脾臓がんに非常に発見されにくいがんもあり

関係があるようです。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃がんと、B、C肝炎ウイルスは肝臓がんと、ヒトパピローマウイルスは子宮頸がんと関係すると言われています。この3つのがんは腹部エコー、胃カメラなどで割り方発見されやすく、また肺がんは胸部レントゲンで見つかりますが、中には脾臓がんに非常に発見されにくいがんもあり

関係があるようです。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃がんと、B、C肝炎ウイルスは肝臓がんと、ヒトパピローマウイルスは子宮頸がんと関係すると言われています。この3つのがんは腹部エコー、胃カメラなどで割り方発見されやすく、また肺がんは胸部レントゲンで見つかりますが、中には脾臓がんに非常に発見されにくいがんもあり

関係があるようです。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃がんと、B、C肝炎ウイルスは肝臓がんと、ヒトパピローマウイルスは子宮頸がんと関係すると言われています。この3つのがんは腹部エコー、胃カメラなどで割り方発見されやすく、また肺がんは胸部レントゲンで見つかりますが、中には脾臓がんに非常に発見されにくいがんもあり

関係があるようです。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃がんと、B、C肝炎ウイルスは肝臓がんと、ヒトパピローマウイルスは子宮頸がんと関係すると言われています。この3つのがんは腹部エコー、胃カメラなどで割り方発見されやすく、また肺がんは胸部レントゲンで見つかりますが、中には脾臓がんに非常に発見されにくいがんもあり

関係があるようです。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃がんと、B、C肝炎ウイルスは肝臓がんと、ヒトパピローマウイルスは子宮頸がんと関係すると言われています。この3つのがんは腹部エコー、胃カメラなどで割り方発見されやすく、また肺がんは胸部レントゲンで見つかりますが、中には脾臓がんに非常に発見されにくいがんもあり